

沿岸・近海漁業資源調査Ⅱ (漁場環境調査：魚礁調査)

天野 裕平

【目的】

人工魚礁の設置状況等を把握することにより、漁場の効率的利用を図るための知見を得る。

【方法】

県下3地区（鹿児島市漁協（本所、桜島支所）、串木野市漁協）の計4カ所において水中テレビロボット（ROV）を用いて人工魚礁の設置状況等（配置、積み重ね状況、洗掘、埋没、付着生物、魚の蝟集状況）を調査した。

【結果】

調査結果は以下のとおり。

地区名	鹿児島市祇園之洲町地先（鹿児島市漁協本所）
調査日	平成29年3月27日
天気	曇り
魚礁漁場名	平成27年溶岩魚礁設置事業
魚礁機種	1m角形溶岩
水深（m）	64
調査概要	調査前日の降雨により、調査域は視界不良だった。 調査域内で1m大の溶岩魚礁が確認された。なお、魚礁の積み重なりは確認されず、1石ずつ点在していた。 魚礁の表面に付着生物は確認されず、周辺ではカサゴが1尾のみ確認された。
確認された魚種	カサゴ
埋没・損壊状況	大きな埋没・損壊は確認されなかった。

地区名	鹿児島市赤生原町地先（鹿児島市漁協桜島支所）	
調査日	平成29年 3 月 27 日	
天気	曇り	
魚礁漁場名	平成25年溶岩魚礁設置事業	
魚礁機種	1 m角形溶岩	
水深（m）	22	
調査概要	<p>調査前日の降雨により，調査域は視界不良だった。</p> <p>調査域内では1 m大の溶岩魚礁が複数確認された。なお，魚礁の積み重なりは確認されず，1石ずつ点在していた。</p> <p>魚礁の表面および周辺にはツノサンゴ類が密生しており，それらの間隙に海藻類が生育していた。</p> <p>魚礁周辺では，ツノサンゴ類の隙間を縫うように遊泳するコロダイとイシダイが確認された。</p>	
確認された魚種	コロダイ，イシダイ	
埋没・損壊状況	大きな埋没・損壊は確認されなかった。	

地区名	いちき串木野市荒川地先（串木野市漁協）	
調査日	平成29年 3 月 28 日	
天気	曇り	
魚礁漁場名	不明	不明
魚礁機種	1.5m角型魚礁	1.5m角型魚礁
水深（m）	34	33
調査概要	<p>調査域内では，1.5m角型魚礁が10基程度点在していた。</p> <p>魚礁の表面には，ソフトコーラル類等が付着していた。</p> <p>魚礁周辺では，コロダイ，カサゴ等の多様な魚種の蛸集が確認された。</p> <p>魚礁は砂泥地に設置されており，確認された魚礁は全て埋没していた。</p>	<p>調査域内では，1.5m角型魚礁が8基程度点在していた。</p> <p>魚礁の表面には，ソフトコーラル類等が付着していた。</p> <p>魚礁周辺では，カワハギ，イラ等多数の多様な魚種の蛸集が確認された。</p>
確認された魚種	コロダイ，カサゴ，カワハギ，エイ類，ネンブツダイ	カワハギ，イラ，コロダイ，ネンブツダイ，キントキモドキ，キタマクラ，フエダイ類
埋没・損壊状況	基体の2～5割埋没していた。	基体の5～8割埋没していた。